

イノウエ 研修でリスキリング支援

人事評価に取り入れ

ステンレス・高合金流通のイノウエ（本社 東京都千代田区、井上浩樹社長）は、社員

の研修受講などスキルアップを支援し人事制

度に取り入れる。多彩な研修メニューでリス

キリング（学び直し）を後押ししながら、受講でレベルアップした社員を評価すること

で、社員のモチベーション向上を図る。

同社はステンレス・高合金などの材料販売とエンジニアリング事業が主体。2019年

から全社員を対象とした研修を本格的に開始し、階層ごとの経営・マネジメント研修や図面の読み方のほか、語学や文書ソフトの操作を学ぶMOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）とメ

ニューは多岐にわたる。DX（デジタルトランスフォーメーション）を見据えた社内研修も行っている。研修は社員の意思を尊重し

強制としていない。新型コロナウイルス禍で企業活動が制限された2020年以降、自主的に受講する社員が増加し、「内勤・外勤ともに業務効率化や残業時間削減など、リスキリングの成果は導入から3年たってようやく表れた」（井上社長）という。この状況を踏まえ、昨秋に研修や資格取得を評価につなげる人事制度を制定し、今年4月から本格的に導入する。制度に取り入れることで一段とリスキリングを加速させる。